

2018年10月5日

粉体工学会「界面特性を利用した粒子設計とプロセス開発に関するワークショップ」
終了報告書

代表 名古屋工業大学先進セラミックス研究センター 高井千加

●活動期間

2017年度～2018年度(2年間)

●概要

粉体を取り扱う多分野の研究者及び技術者に参加いただき、界面をキーワードとした粒子設計、機能化及びそのプロセス開発に関して、分野を超えた情報交換を行う場を提供することを目的とした。2017年は3回講演会を開催し、薬工、若手、産学の様々な分野及び立場の研究者、技術者が集まり、活発に議論し交流することができた。2018年度は、粉とマトリックス界面の特性に着目し、2回講演会を開催した(3回目を11月に開催予定)。材料分野だけでなく、電気及び機械分野の研究者にも幅を広げ、材料をデバイス化するうえでのテクニックについて、おのおのの立場から研究発表を行い、討論し、学術的な交流を深めた。

●主な活動

2017年5月18日 場所:ハロー貸会議室東京駅八重洲5F

薬工をつなぐ粉体界面プロセス

ー2017年度第1回界面特性を利用した粒子設計とプロセス開発に関するワークショップならびに粉体グリーンプロセス研究会講演会ー

共催:粉体グリーンプロセス研究会

2017年8月29日 場所:柿野温泉 八勝園湯元館

第2回ワークショップ(2017年度若手研究者討論会)

共催:中部談話会

2017年12月20日 場所:名古屋工業大学

第3回ワークショップ

2018年9月28日 場所:名古屋工業大学

第1回ワークショップ

2018年9月10日 場所:浜松

第2回ワークショップ(2018年度若手研究者討論会)

共催:中部談話会

2018年11月15日(予定) 場所:名古屋工業大学

第3回ワークショップ

●今後の予定

本ワークショップで構築した人的ネットワークを最大限に活用し、熱電変換薄膜材料開発に関する共同研究を開始した。また、「薬工連携シンポジウム(仮)」として、次年度粉体工学会秋期研究発表会シンポジウム設立申請を、岐阜薬科大学田原先生と共同で行う。